

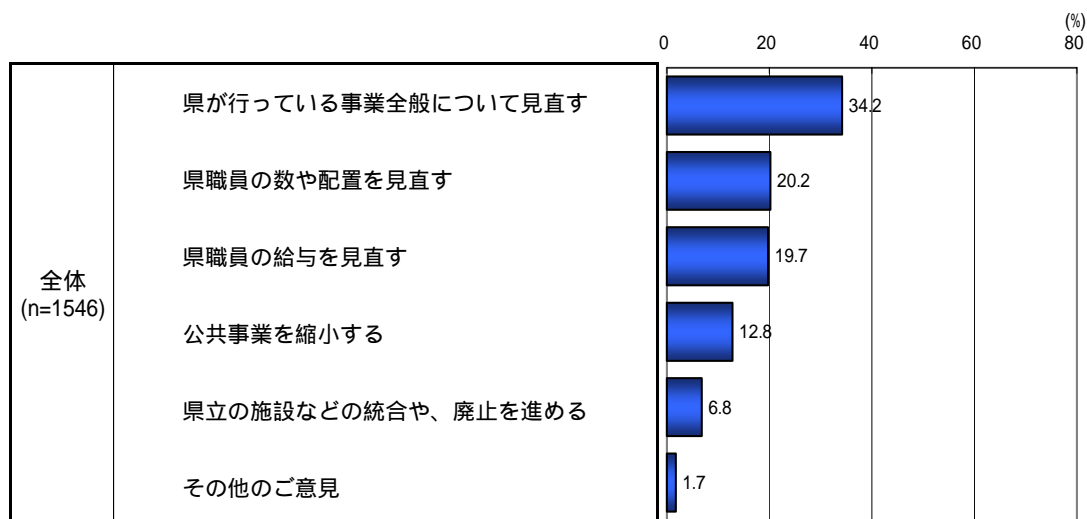
II 調査結果

第1 県の政策などについて

1 行財政改革について

県の行財政改革について（問1）

問1 あなたは、県が進めている行財政改革について、どれがもっとも重要だと思いますか？
（1つ 印をおつけください。）



「県が行っている事業全般について見直す」が34.2%で最多。

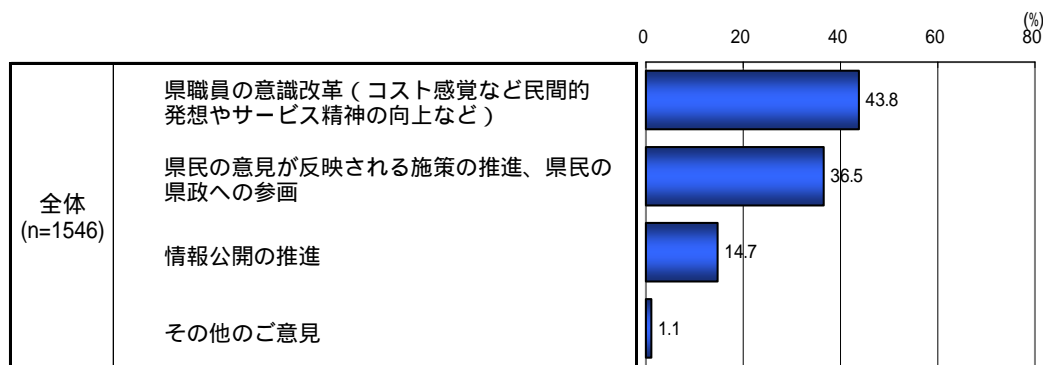
「県職員の数や配置を見直す」が20.2%、「県職員の給与を見直す」が19.7%で拮抗。

「公共事業を縮小する」は12.8%。

「県立施設などの統合や、廃止を進める」が6.8%と最少。

県が行政を進める姿勢について（問2）

問2 あなたは、県が行政を進める姿勢として、どのようなことを望みますか？
（1つ 印をおつけください。）



「県職員の意識改革」が最多で、43.8%が職員の意識改革を求める。

次に多いのは「県民の意見が反映される施策の推進、県民の県政への参画」で36.5%。

「情報公開の推進」が14.7%で最少。

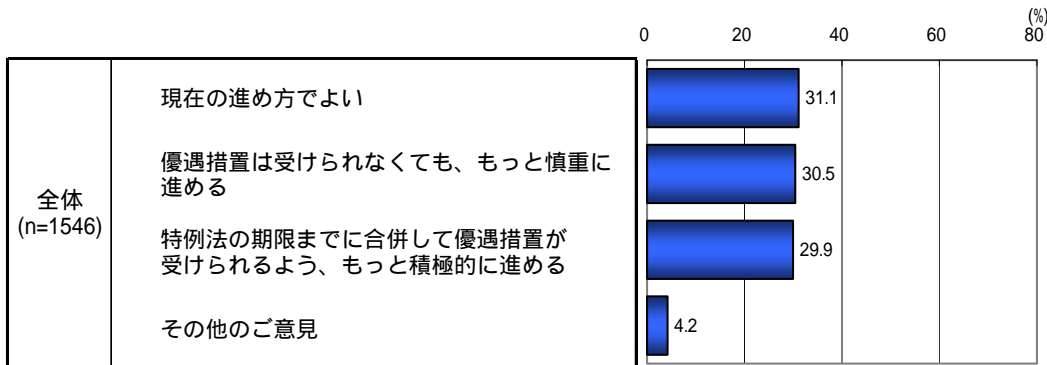
2 市町村合併について

市町村合併への取り組みについて（問1）

問1 合併に対するいろいろな優遇措置を定めた「合併特例法」の期限が、平成17年の3月末に迫っています。

あなたの住む市町村での合併への取り組み方について、どのようにお考えですか？

（1つ 印をおつけください。）

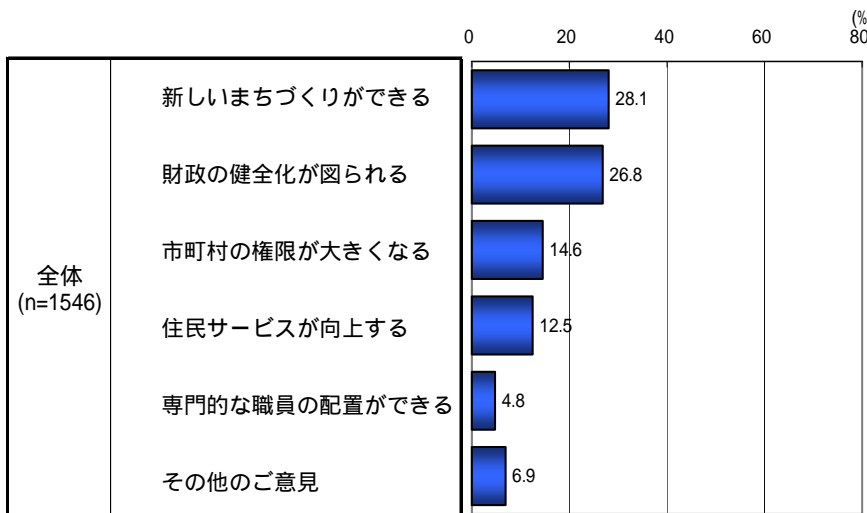


「現在の進め方でよい」が31.1%で最多だが、「優遇措置は受けられなくても、もっと慎重に進める」の30.5%、「特例法の期限までに合併して優遇措置が受けられるよう、もっと積極的に進める」の29.9%と拮抗。

市町村合併への期待について（問2）

問2 あなたの住む市町村が他の市町村と合併することについて、どのような期待をお持ちですか？

（もっとも期待されていることに1つ 印をおつけください。）

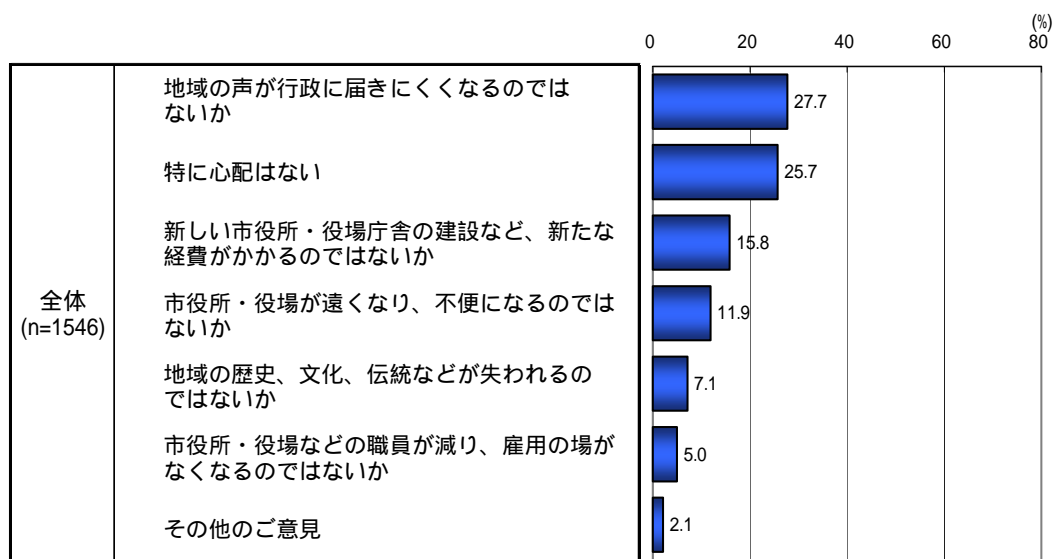


「新しいまちづくりができる」が28.1%で最多だが、「財政の健全化が図られる」の26.8%と拮抗。3番目、4番目の「市町村の権限が大きくなる」と「住民サービスが向上する」は上位2項目の半分程度で拮抗。

「専門的な職員の配置ができる」への期待は4.8%と少ない。

市町村合併に対する心配について（問3）

問3 あなたの住む市町村が他の市町村と合併することについて、なにか心配なことがありますか？
 （もっとも心配だと思われることに1つ 印をおつけください。）



「地域の声が行政に届きにくくなるのではないか」が27.7%で最多だが、「特に心配はない」の25.7%と拮抗。

やや離れて「新しい市役所・役場庁舎の建設など、新たな経費がかかるのではないか」、「市役所・役場が遠くなり、不便になるのではないか」が続く。

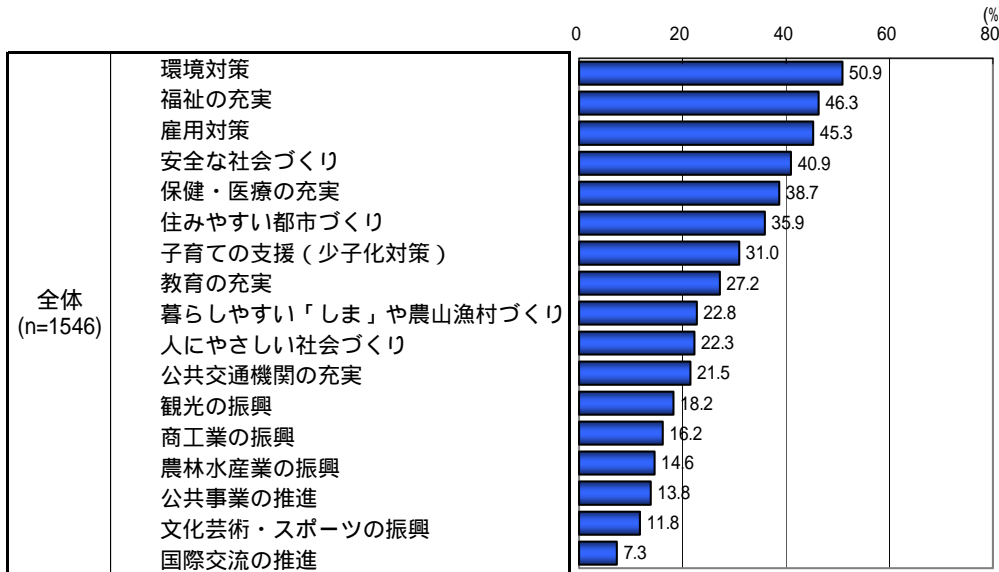
「地域の歴史、文化、伝統などが失われるのではないか」、「市役所・役場などの職員が減り、雇用の場がなくなるのではないか」は他の項目に比べ少なく、いずれも10%未満。

3 県の施策（事業）の進め方について

(1) 県の重点施策について

今後県が力を入れていくべき分野について（問1）

問1 あなたは、今後、県がどのような分野に力を入れていくべきだと思いますか？
（5つまで 印をおつけください。）



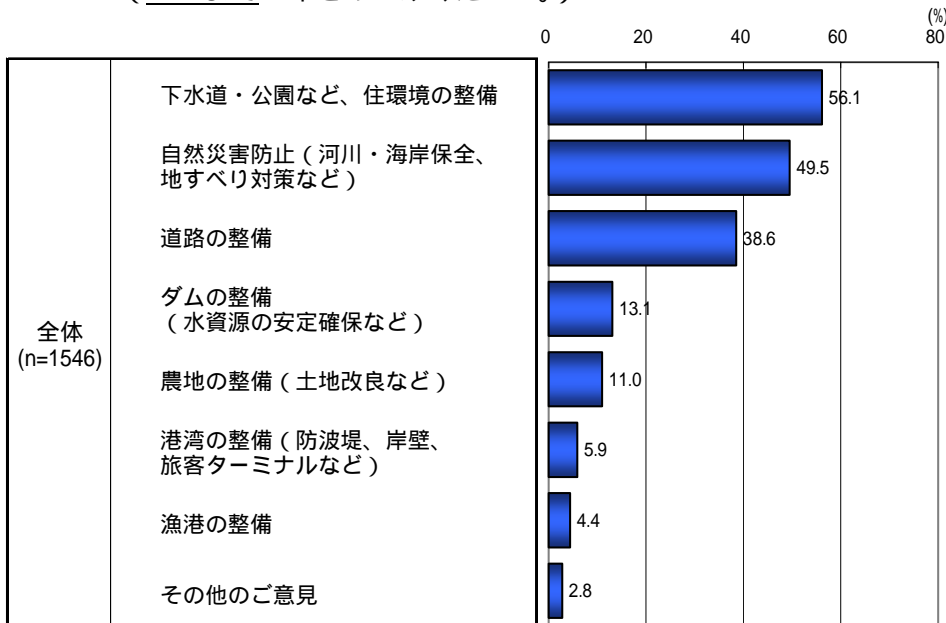
「環境対策」が 50.9% で最多。
これに「福祉の充実」が 46.3%、「雇用対策」が 45.3%、「安全な社会づくり」が 40.9%、「保健・医療の充実」が 38.7% で続く。
「国際交流の推進」が 7.3% で最少。

(2) 個別の施策（事業）について

公共事業について（問1）

問1- 公共事業全般について

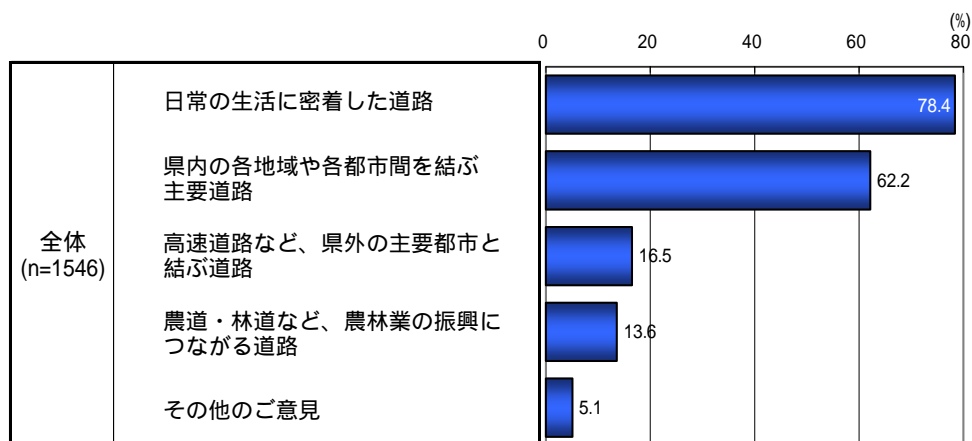
あなたは、以下の公共事業の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？
（2つまで 印をおつけください。）



「下水道・公園など、住環境の整備」が 56.1% で最多。
これに「自然災害防止」が 49.5%、「道路の整備」が 38.6% で続く。
「ダム」、「農地」、「港湾」、「漁港」はいずれも 15% 未満で、上位 3 項目とは隔たりが大きい。

問 1- 道路の整備について

あなたは、今後どのような道路に力を入れていくべきだと思いますか？
 (2つまで 印をおつけください。)



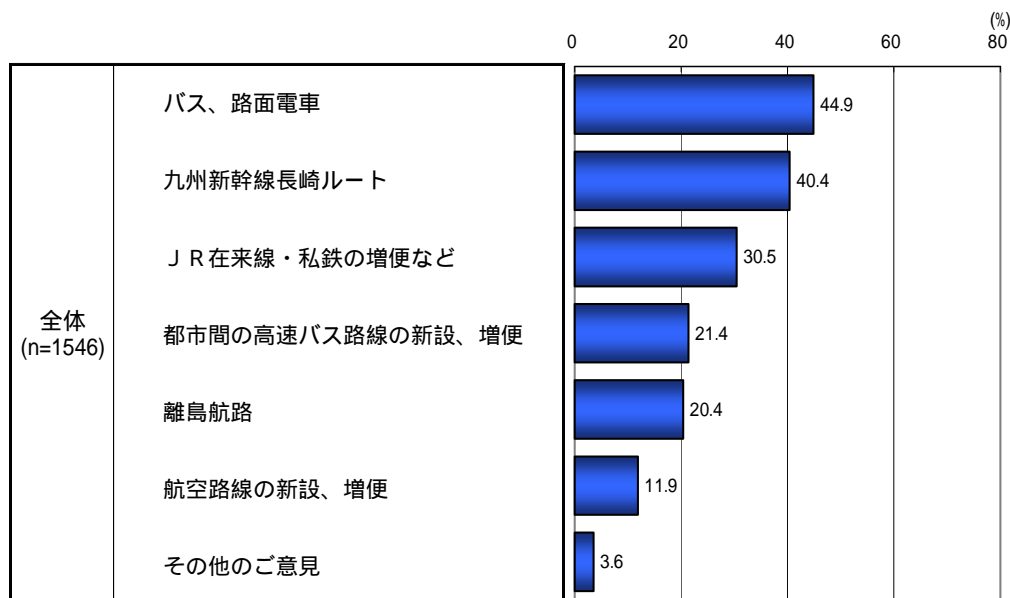
「日常生活に密着した道路」が 78.4%で最多。

「県内の各地域や各都市間を結ぶ主要道路」が 62.2%でこれに続く。

「高速道路など、県外の主要都市と結ぶ道路」、「農道・林道など、農林業の振興につながる道路」はいずれも 20%未満。

公共交通機関の充実について (問 2)

問 2 あなたは、以下の公共交通機関の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？
 (2つまで 印をおつけください。)



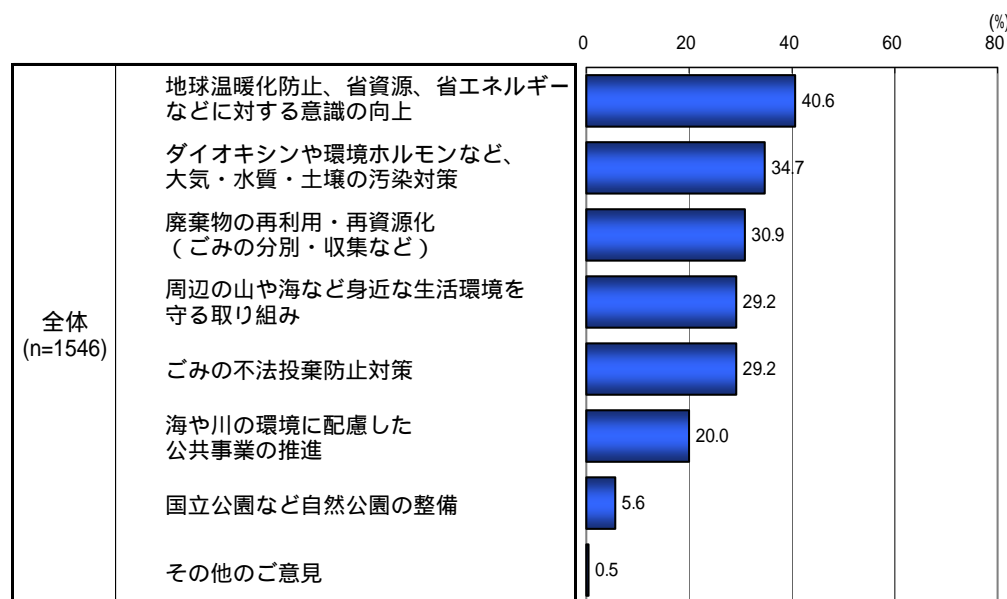
「バス、路面電車」が 44.9%で最多だが、「九州新幹線長崎ルート」の 40.4%と拮抗。

以下、「JR 在来線・私鉄の増便など」、「都市間的高速バス路線の新設、増便」、「離島航路」と続く。

「航空路線の新設、増便」が 11.9%で最少。

環境対策について（問3）

問3 あなたは、以下の環境対策の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？
（2つまで 印をおつけください。）

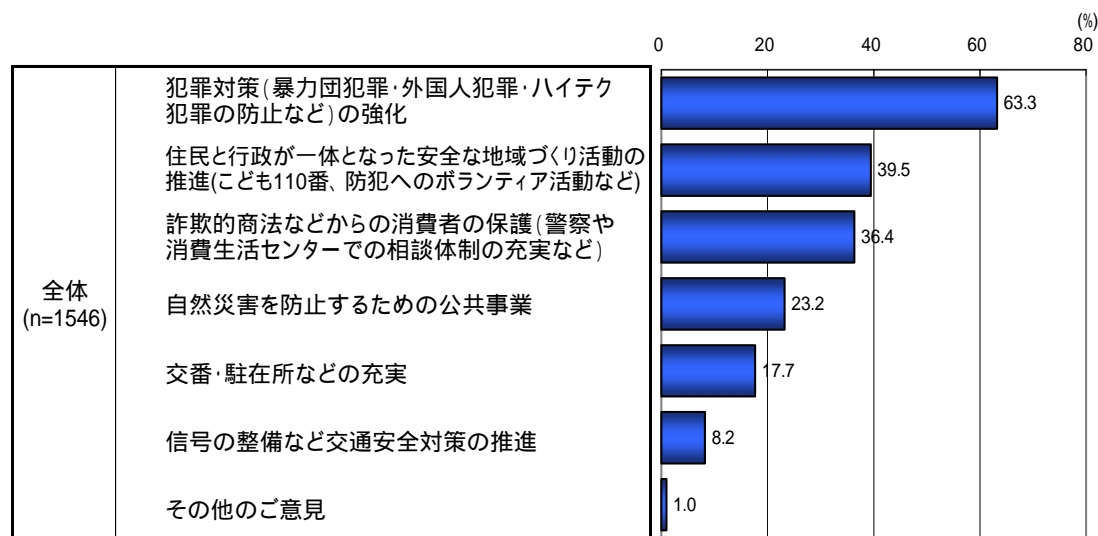


「地球温暖化防止、省資源、省エネルギーなどに対する意識の向上」が 40.6%で最多。
 「ダイオキシンや環境ホルモンなど、大気・水質・土壌の汚染対策」が 34.7%でこれに続く。
 以下、「廃棄物の再利用・再資源化」、「周辺の山や海など身近な生活環境を守る取り組み」、「ごみの不法投棄防止対策」はいずれも 30%前後で拮抗。
 「海や川の環境に配慮した公共事業の推進」が 20.0%。
 「国立公園など自然公園の整備」が 5.6%で最少。

安全な社会づくりについて（問4）

問4- 安全な社会づくりについて

あなたは、安全な社会づくりのためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？
（2つまで 印をおつけください。）

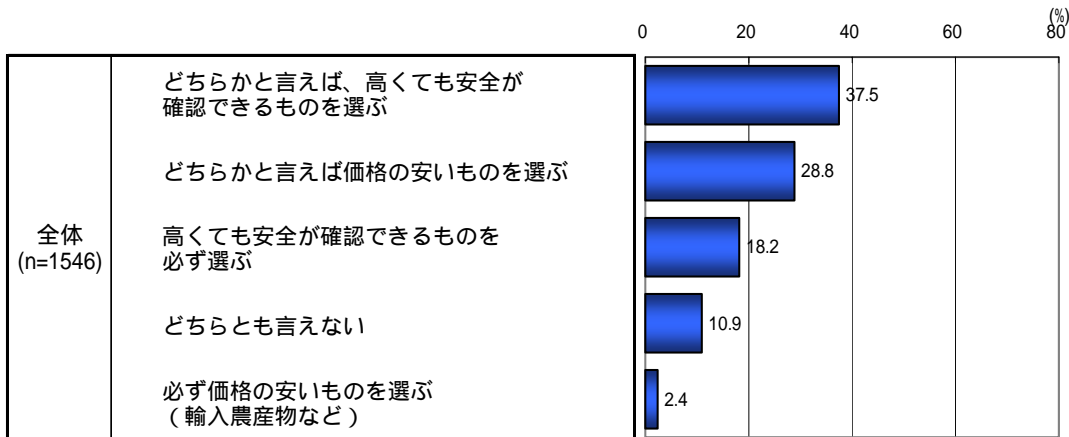


「犯罪対策の強化」が 63.3%で他の項目に抜きんで多い。
 以下、「住民と行政が一体となった安全な地域づくり活動の推進」が 39.5%、「詐欺的商法などからの消費者の保護」が 36.4%、「自然災害を防止するための公共事業」が 23.2%、「交番・駐在所などの充実」が 17.7%で続く。
 「信号の整備などの交通安全対策の推進」は 8.2%で最少。

問 4- 食の安全・安心対策について

あなたは、食品を選ぶ時、どのような点に注意して選んでいますか？

(1つ 印をおつけください。)



「どちらかと言えば、高くても安全が確認できるものを選ぶ」が 37.5%で最多。

「どちらかと言えば価格の安いものを選ぶ」の 28.8%がこれに続く。

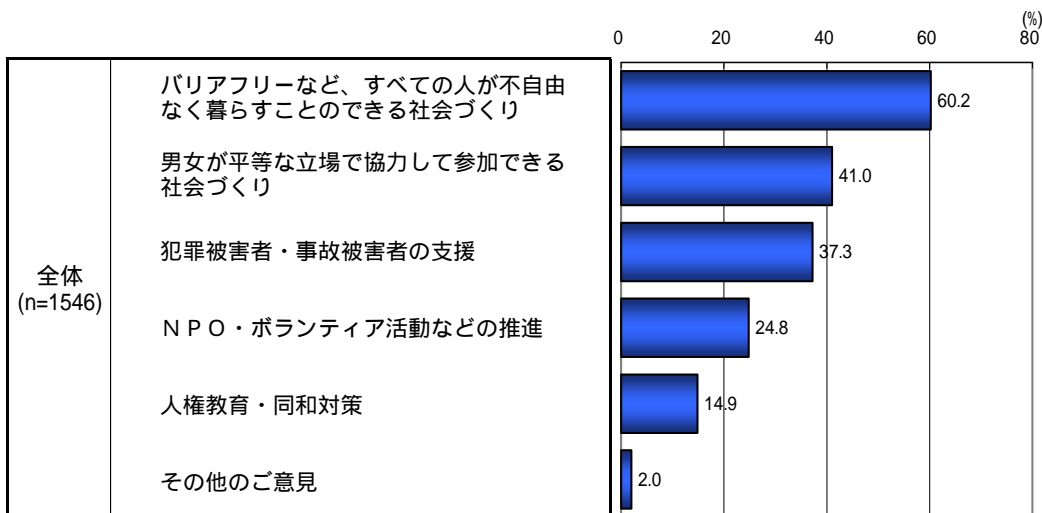
「必ず価格の安いものを選ぶ」は 2.4%と少ない。

「必ず価格の安いものを選ぶ」と「どちらかと言えば価格の安いものを選ぶ」が合わせて 31.2%、「高くても安全が確認できるものを必ず選ぶ」と「どちらかと言えば、高くても安全が確認できるものを選ぶ」が合わせて 55.6%で、全般的には「価格」よりも「安全」が重視される傾向。

人にやさしい社会づくりについて (問 5)

問 5 あなたは、人にやさしい社会づくりのためには、以下の施策 (事業) の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

(2つまで 印をおつけください。)



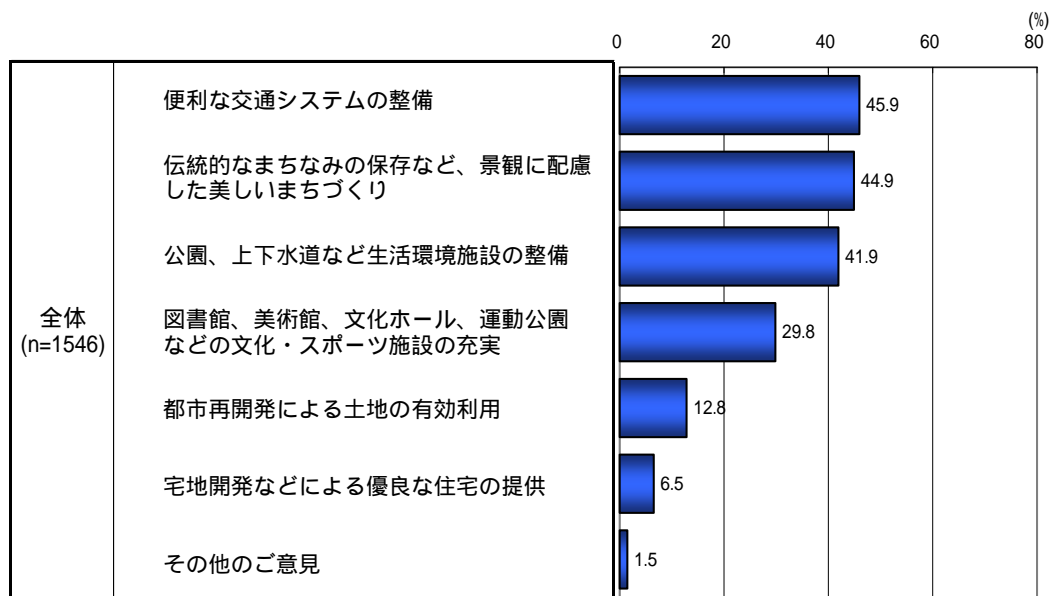
「バリアフリーなど、すべての人が不自由なく暮らすことのできる社会づくり」が 60.2%で最多。

以下、「男女が平等な立場で協力して参加できる社会づくり」、「犯罪被害者・事故被害者の支援」、「NPO・ボランティア活動などの推進」と続く。

「人権教育・同和対策」が 14.9%で最少。

住みやすい都市づくりについて（問6）

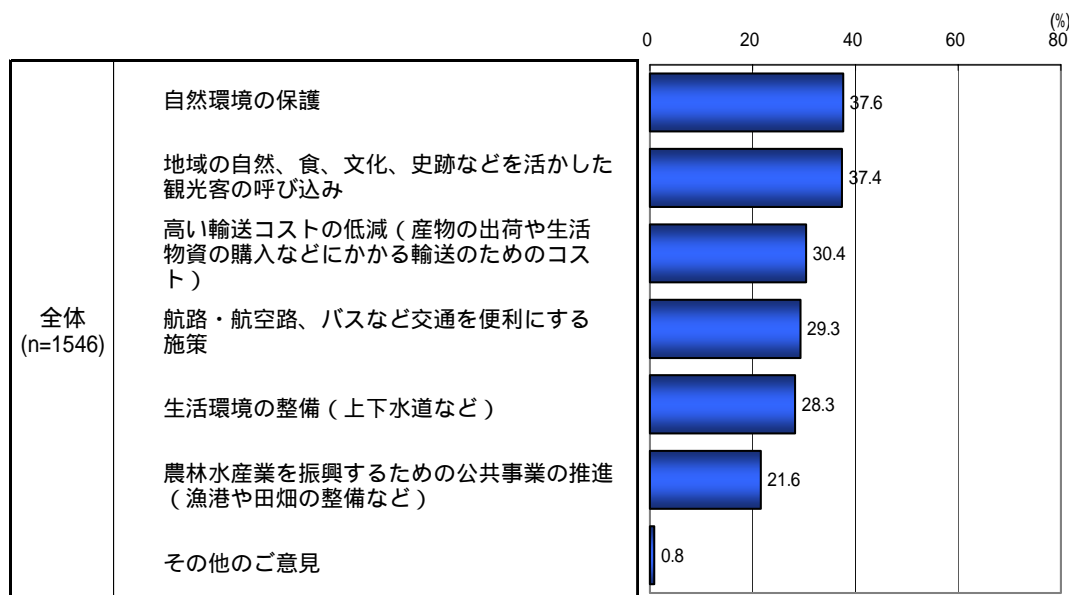
問6 あなたは、住みやすい都市づくりのためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？
（2つまで 印をおつけください。）



「便利な交通システムの整備」が45.9%で最多だが、「伝統的なまちなみの保存など、景観に配慮した美しいまちづくり」の44.9%、「公園、上下水道など生活環境施設の整備」の41.9%と拮抗。これに、「図書館、美術館、文化ホール、運動公園などの文化・スポーツ施設の充実」が29.8%で続く。逆に、「宅地開発などによる優良な住宅の提供」が6.5%、「都市再開発などによる土地の有効利用」が12.8%とやや少ない。

暮らしやすい「しま」や農山漁村づくりについて（問7）

問7 あなたは、「しま」や農山漁村を暮らしやすくするためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？
（2つまで 印をおつけください。）

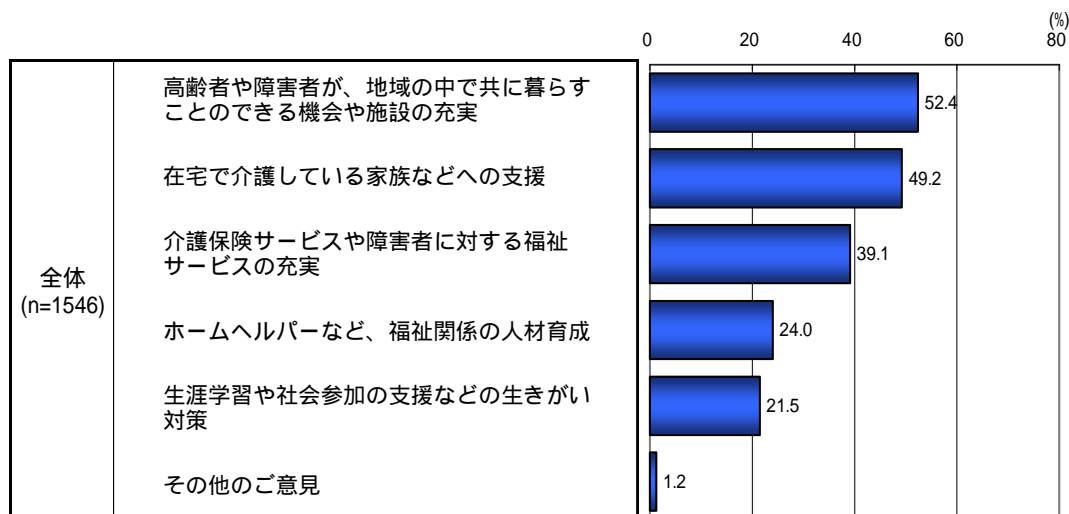


「自然環境の保護」が37.6%、「地域の自然、食、文化、史跡などを活かした観光客の呼び込み」が37.4%と拮抗し、他の項目よりもやや多い。これに続く「高い輸送コストの低減」、「航路・航空路、バスなど交通を便利にする施策」、「生活環境の整備」は30%前後で拮抗。「農林水産業を振興するための公共事業の推進」が21.6%で最少。

福祉の充実について（問8）

問8 あなたは、福祉の充実について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「高齢者や障害者が、地域の中で共に暮らすことのできる機会や施設の充実」が52.4%と最多だが、「在宅で介護している家族などへの支援」の49.2%と拮抗。

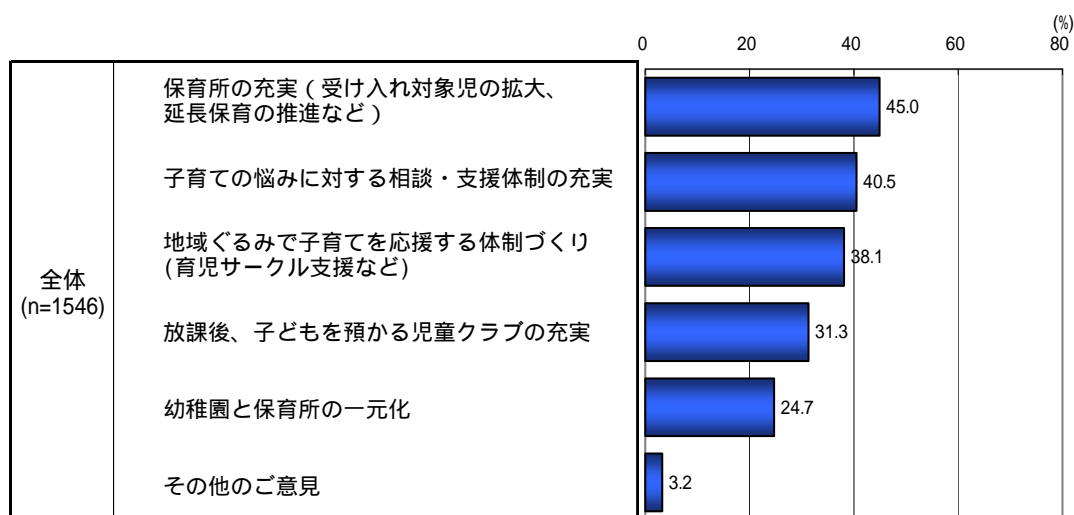
以下、「介護保険サービスや障害者に対する福祉サービスの充実」が39.1%で続く。

「ホームヘルパーなど、福祉関係の人材育成」と「生涯学習や社会参加の支援などの生きがい対策」はともに20%台前半で、他の項目と比較すると少ない。

子育ての支援（少子化対策）について（問9）

問9 あなたは、子育ての支援（少子化対策）について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



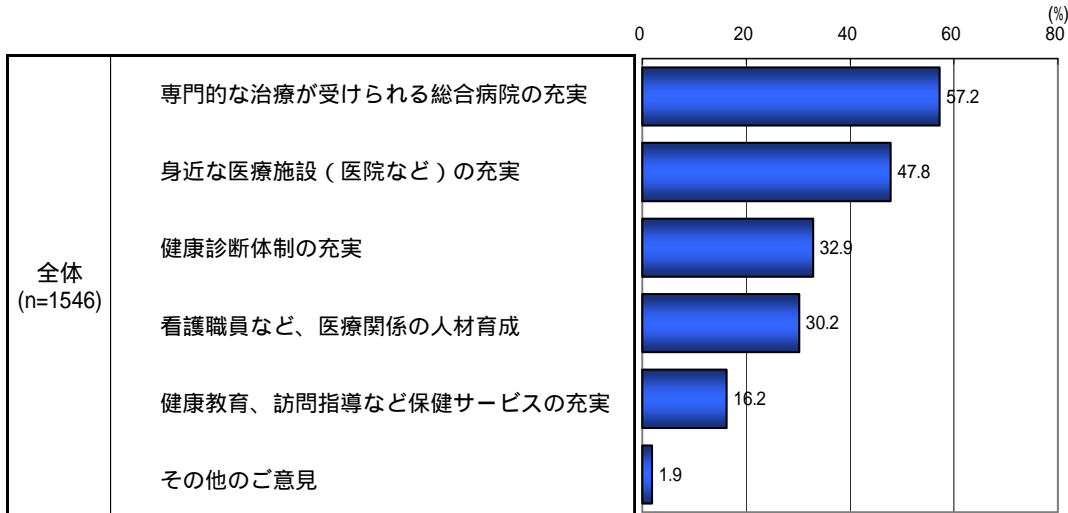
「保育所の充実」が45.0%で最多。

以下、「子育ての悩みに対する相談・支援体制の充実」、「地域ぐるみで子育てを応援する体制づくり」、「放課後、子供を預かる児童クラブの充実」、「幼稚園と保育所の一元化」の順。

保健・医療の充実について（問 10）

問 10 あなたは、保健・医療の充実について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



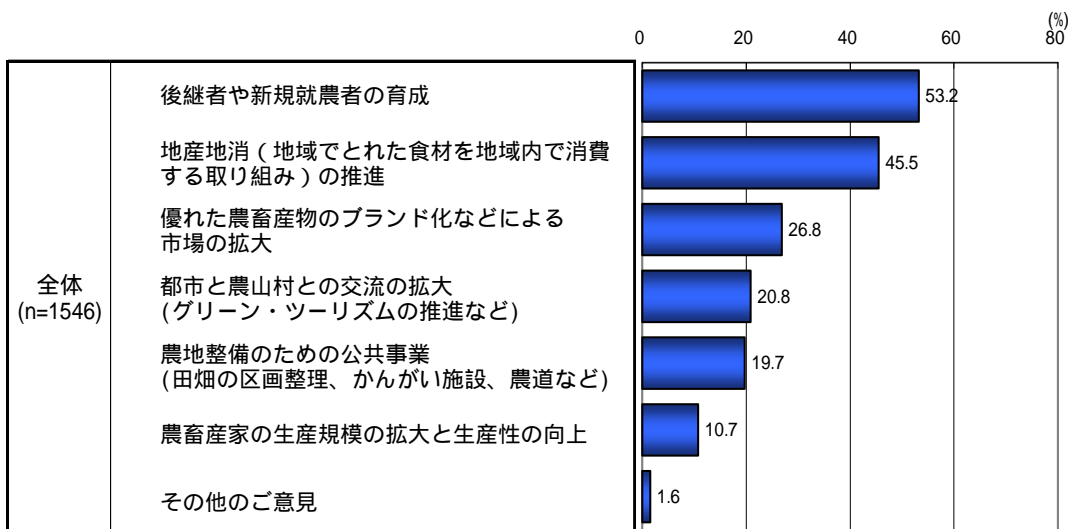
「専門的な治療が受けられる総合病院の充実」が 57.2%で最多。
 「身近な医療施設の充実」の 47.8%と併せ、医療機関の充実を求める回答が上位 2 項目を占める。
 以下、「健康診断体制の充実」、「看護職員など、医療関係の人材育成」と続く。
 「健康教育、訪問指導など保健サービスの充実」が 16.2%で最少。

農林水産業の振興について（問 11）

問 11- 農業の振興について

あなたは、農業の振興のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）

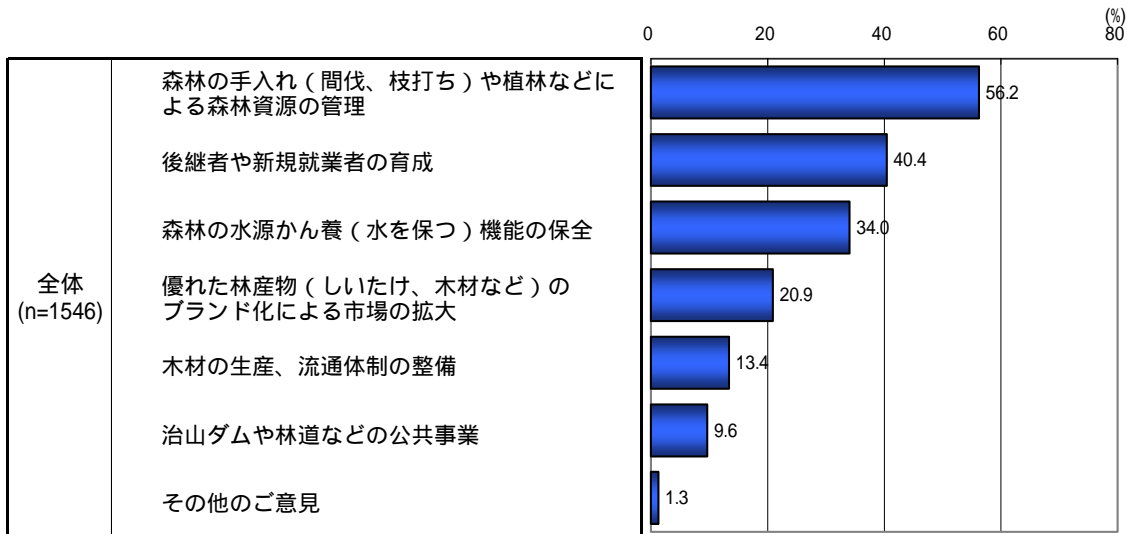


「後継者や新規就農者の育成」が 53.2%で最多。
 やや離れて「地産地消の推進」が 45.5%で続く。
 以下、「優れた農畜産物のブランド化などによる市場の拡大」、「都市と農山村との交流の拡大」、「農地整備のための公共事業」の順。
 「農畜産家の生産規模の拡大と生産性の向上」が 10.7%で最少。

問 11- 林業の振興について

あなたは、林業の振興のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「森林の手入れや植林などによる森林資源の管理」が 56.2%で最多。

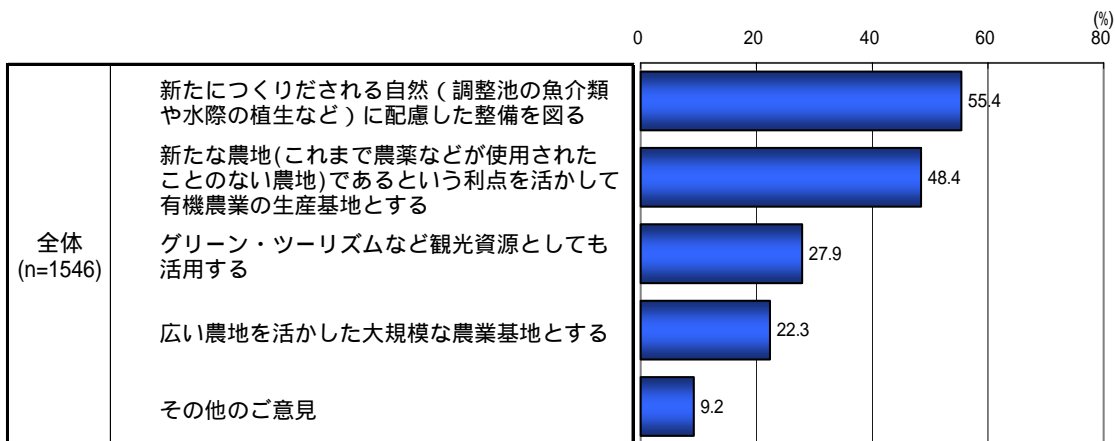
以下、「後継者や新規就業者の育成」、「森林の水源かん養機能の保全」、「優れた林産物のブランド化による市場の拡大」、「木材の生産、流通体制の整備」と続く。

「治山ダムや林道などの公共事業」は 9.6%で最少。

問 11- 諫早湾干拓地の活用について

諫早湾干拓事業は、平成 18 年度に完成予定ですが、事業によってできる農地、潮受堤防、潮受堤防内の淡水湖などを、どのように活用していくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



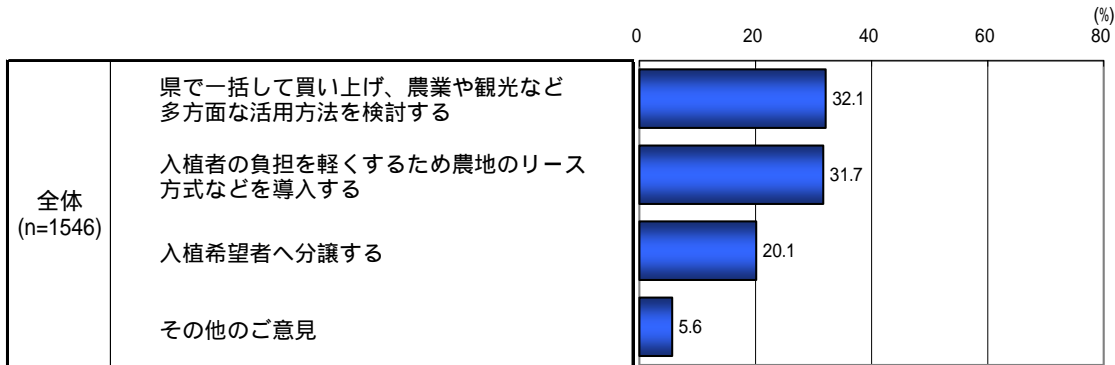
「新たにつくりだされる自然に配慮した整備を図る」が 55.4%で最多。

「新たな農地であるという利点を活かして有機農業の生産基地とする」が 48.4%でこれに続く。

「グリーン・ツーリズムなど観光資源としても活用する」、「広い農地を活かした大規模な農業基地とする」は、上位の半分程度と少ない。

問 11- 諫早湾干拓農地の分譲方式などについて

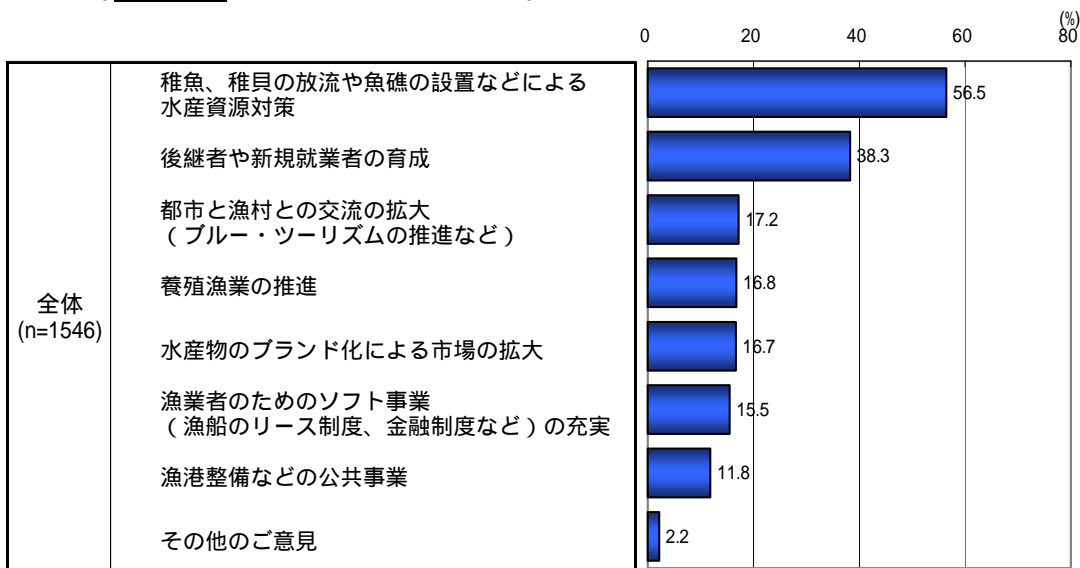
諫早湾干拓事業によってできる農地の価格は、全体（693ha）で50数億円と試算されていますが、これを今後どのような形で分譲などをしていくべきだと思いますか？
（1つ 印をおつけください。）



「県で一括して買い上げ、農業や観光など多方面な活用方法を検討する」が32.1%で最多だが、「入植者の負担を軽くするため農地のリース方式などを導入する」の31.7%と拮抗。
「入植希望者へ分譲する」は20.1%で上位2項目の2/3程度。

問 11- 水産業の振興について

あなたは、水産業の振興のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？
（2つまで 印をおつけください。）

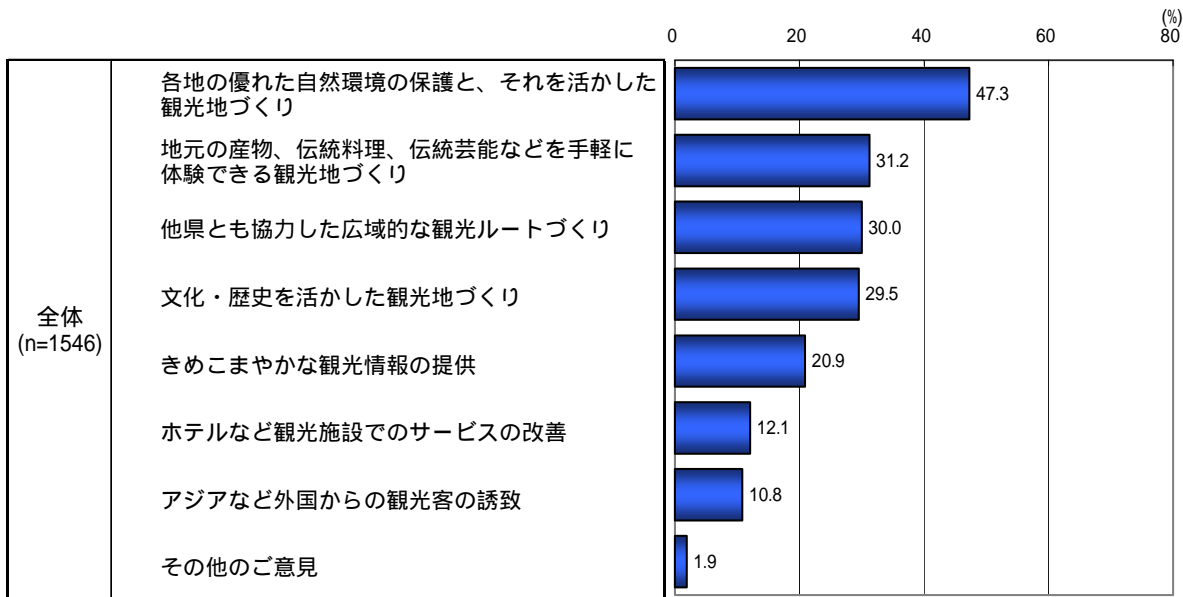


「稚魚、稚貝の放流や魚礁の設置などによる水産資源対策」が56.5%で突出。
これに「後継者や新規就業者の育成」が38.3%で続く。
その他の項目は「漁港整備などの公共事業」が11.8%とやや少ない他は、16~17%で拮抗。

観光の振興について（問 12）

問 12 あなたは、観光の振興のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



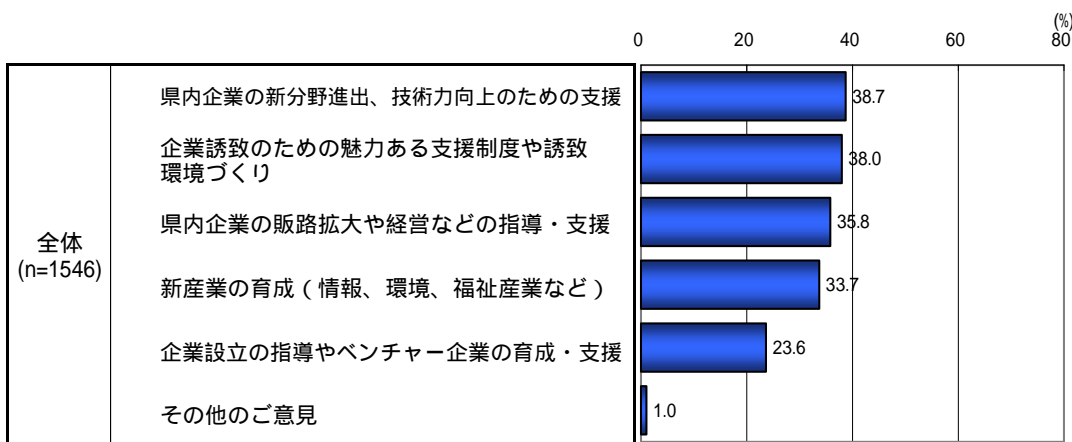
「各地の優れた自然環境の保護と、それを活かした観光地づくり」が 47.3%で最多。それに続く「地元の産物、伝統料理、伝統芸能などを手軽に体験できる観光地づくり」、「他県とも協力した広域的な観光ルートづくり」、「文化・歴史を活かした観光地づくり」の3項目は30%前後で拮抗。以下、「きめこまやかな観光情報の提供」、「ホテルなど観光施設でのサービスの改善」、「アジアなど外国からの観光客の誘致」の順。

商工業の振興について（問 13）

問 13- 工業の振興について

あなたは、工業の振興のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）

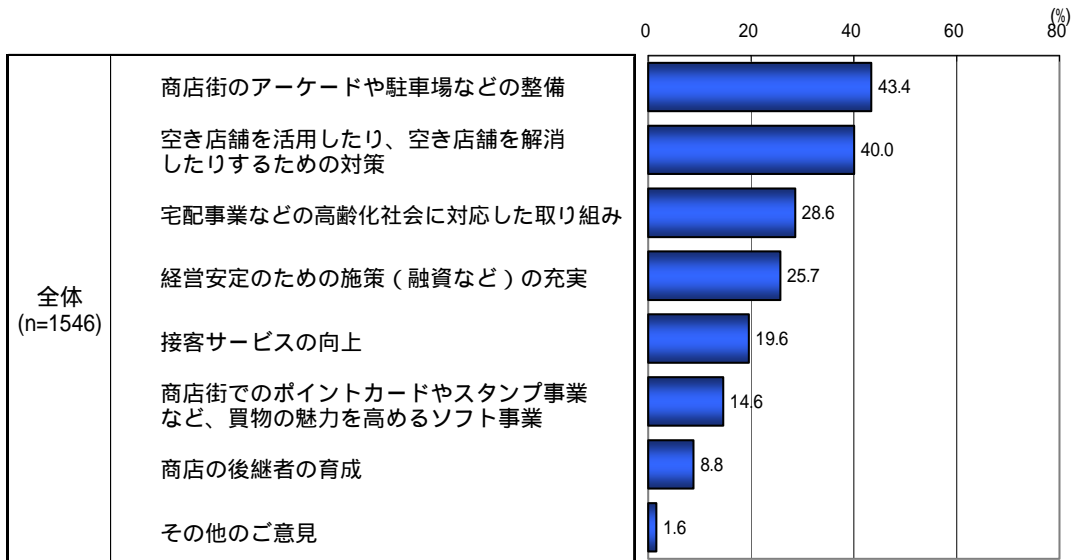


「県内企業の新分野進出、技術力向上のための支援」が 38.7%で最多だが、「企業誘致のための魅力ある支援制度や誘致環境づくり」の 38.0%、「県内企業の販路拡大や経営などの指導・支援」の 35.8%、「新産業の育成」の 33.7%と拮抗。

「企業設立の指導や、ベンチャー企業の育成・支援」は 23.6%でその他の項目と比較すると少ない。

問 13- 商業の振興について

あなたは、商業の振興のためには、どのような取り組みが重要だと思いますか？
(2つまで 印をおつけください。)



「商店街のアーケードや駐車場の整備」が 43.4%で最多だが、「空き店舗を活用したり、空き店舗を解消したりするための対策」の 40.0%と拮抗。

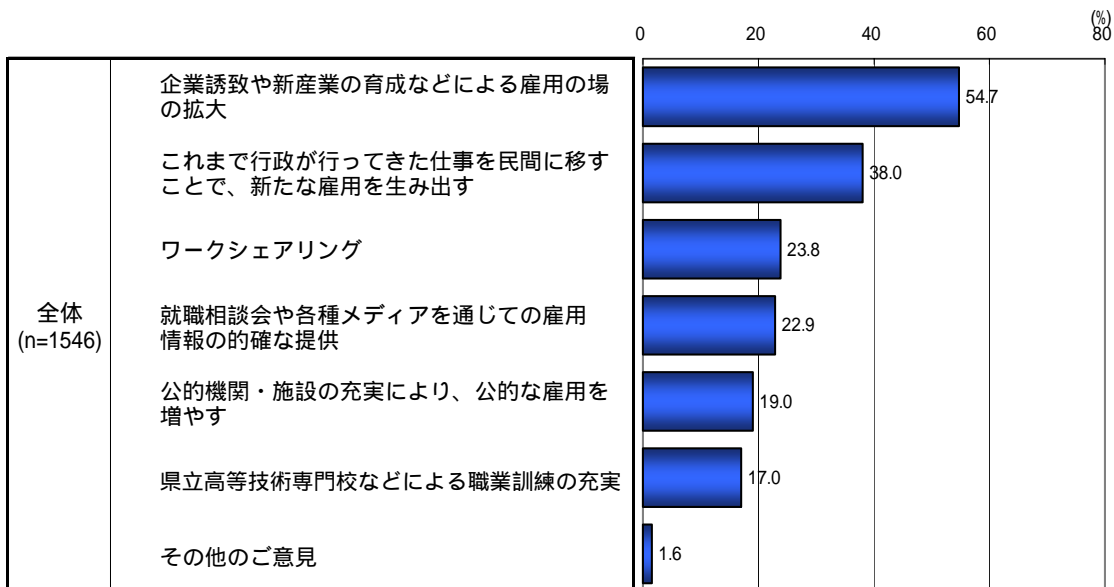
以下、「宅配事業などの高齢化社会に対応した取り組み」、「経営安定のための施策の充実」、「接客サービスの向上」、「商店街でのポイントカードやスタンプ事業など、買物のための魅力を高めるソフト事業」と続く。

「商店の後継者の育成」が 8.8%で最少。

雇用対策について（問 14）

問 14 あなたは、雇用対策について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

(2つまで 印をおつけください。)



「企業誘致や新産業の育成などによる雇用の拡大」が 54.7%で最多。

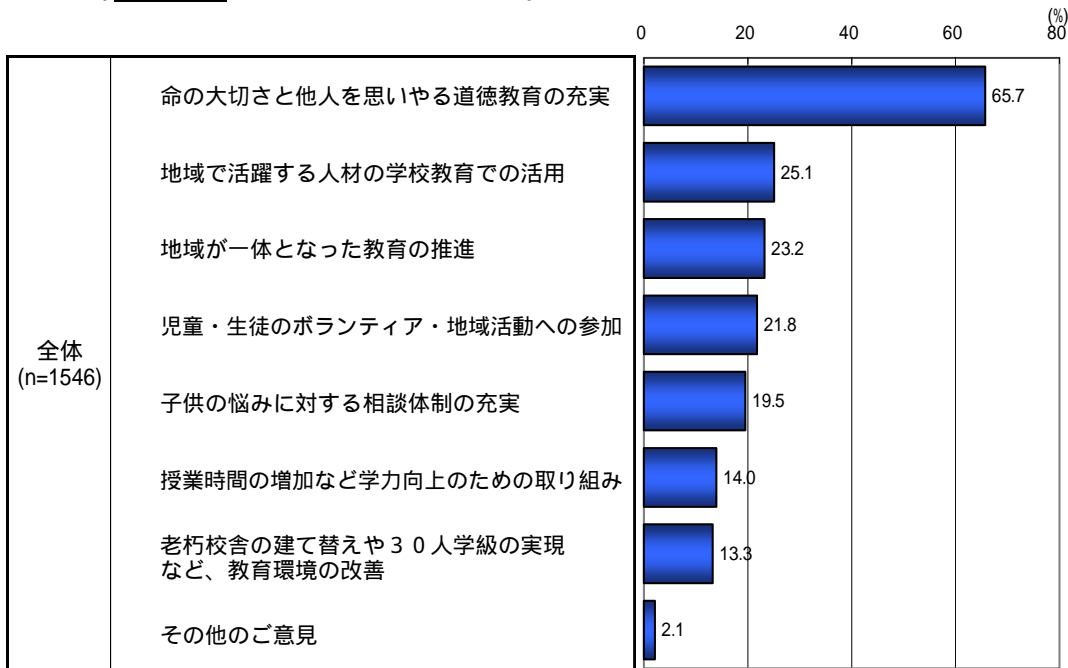
「これまで行政が行ってきた仕事を民間に移すことで、新たな雇用を生み出す」が 38.0%でこれに続く。以下、「ワークシェアリング」、「就職相談会や各種メディアを通じた雇用情報の的確な提供」、「公的機関・施設の充実により、公的な雇用を増やす」、「県立高等技術専門学校などによる職業訓練の充実」の順。

教育の充実について（問 15）

問 15- 教育のあり方全般について

あなたは、教育のあり方について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「命の大切さと他人を思いやる道德教育の充実」が 65.7%で突出。

以下、「地域で活躍する人材の学校教育での活用」、「地域が一体となった教育の推進」、「児童・生徒のボランティア・地域活動への参加」、「子供の悩みに対する相談体制の充実」、「授業時間の増加など学力向上のための取り組み」、「老朽校舎の建て替えや30人学級の実現など、教育環境の改善」の順。

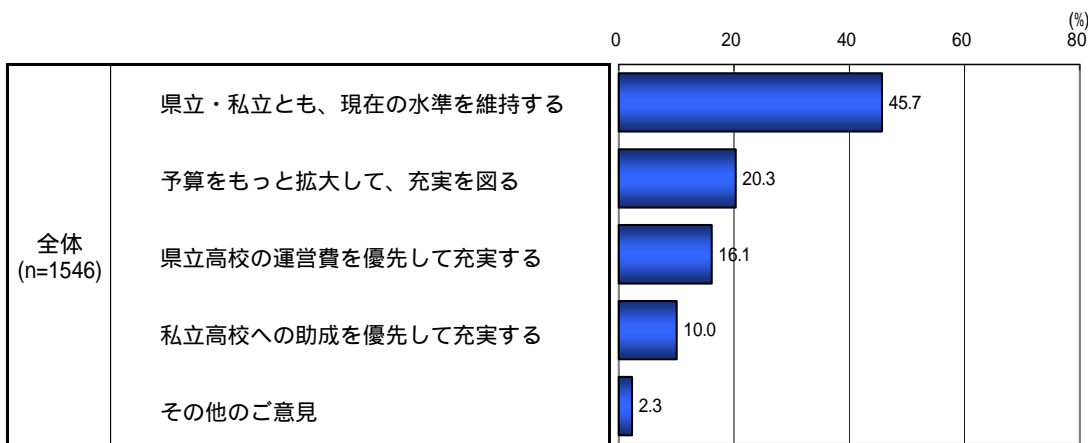
問 15- 高校教育の今後の方向について

県では現在、県立高校の運営と私立高校に対する助成に、1年間で約500億円（生徒1人あたり 県立高校約120万円、私立高校約30万円）を支出しています。

現在、中学校卒業予定者の数は急激に減少してきており、8年後の平成23年3月には、平成14年3月より24%、4,700人も少ない約14,900人となることが予想されています。

このような中で、限られた予算を、今後どのように配分して去べきだと思いますか？

（1つ 印をおつけください。）



「県立・私立とも、現在の水準を維持する」が 45.7%で突出。

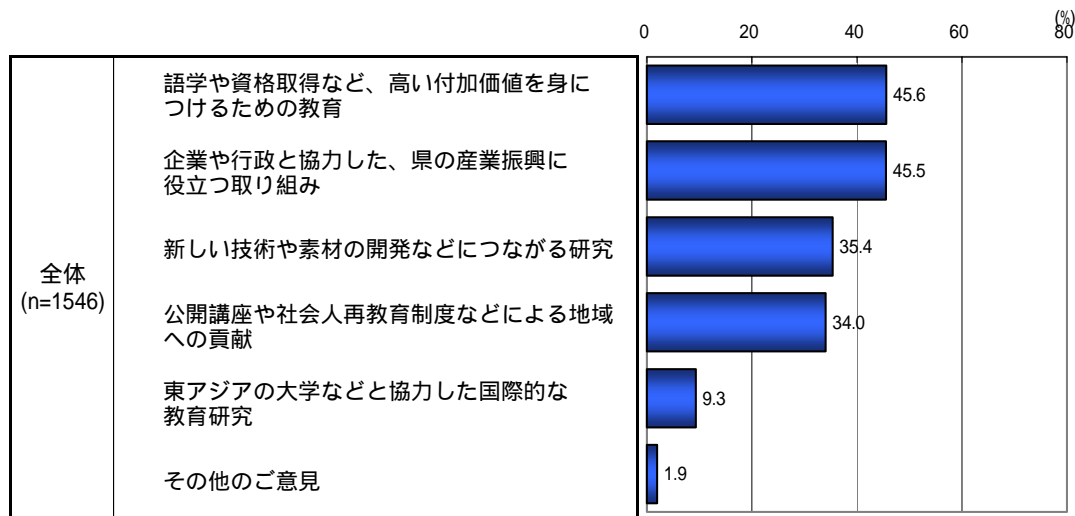
以下、「予算をもっと拡大して、充実を図る」、「県立高校の運営費を優先して充実する」、「私立高校への助成を優先して充実する」の順。

問 15- 県立大学のあり方について

県では、2つの県立大学を独立行政法人化し、平成20年度までに統合することなどを主な内容とした大学改革を進めています。

県民の税金などで運営される大学として、今後どのような分野に重点をおいていくべきだと思いますか？

(2つまで 印をおつけください。)



「語学や資格取得など、高い付加価値を身につけるための教育」が45.6%、「企業や行政と協力した、県の産業振興に役立つ取り組み」が45.5%と拮抗。

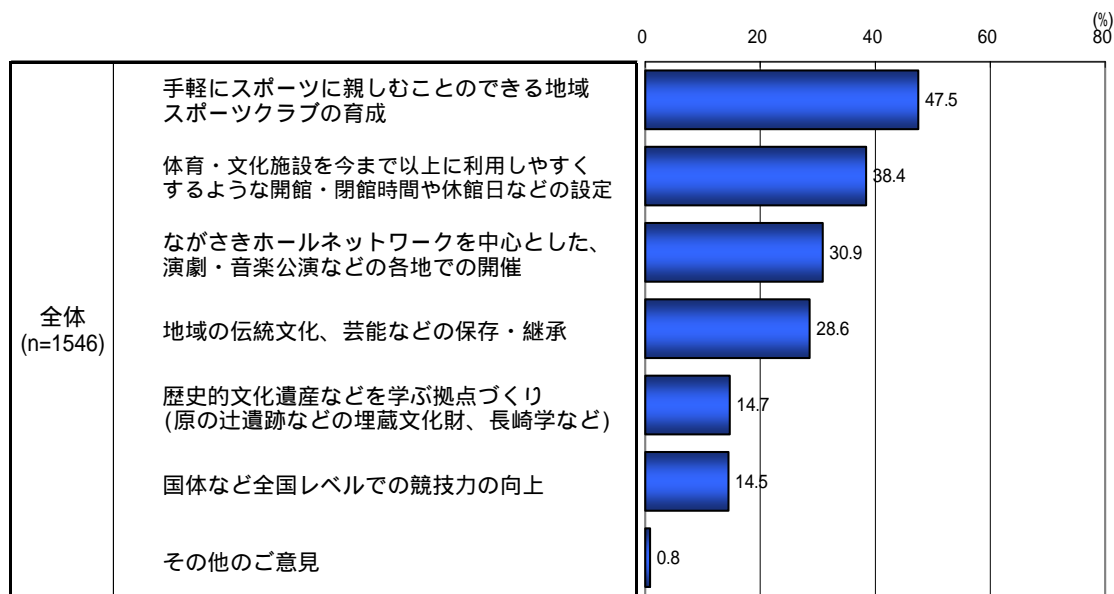
これに続く「新しい技術や素材の開発などにつながる研究」と「公開講座や社会人再教育制度などによる地域への貢献」はともに35%程度。

「東アジアの大学などと協力した国際的な教育研究」は9.3%と他の項目に比べ少ない。

文化・スポーツの振興について (問 16)

問 16 あなたは、文化芸術・スポーツの振興のためには、以下の施策(事業)の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

(2つまで 印をおつけください。)



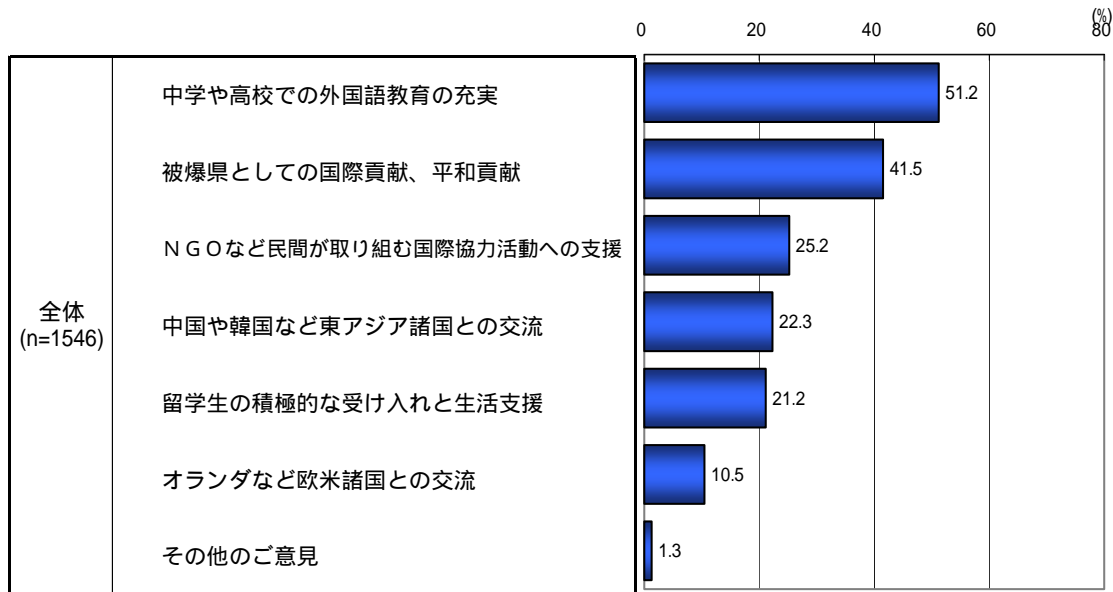
「手軽にスポーツに親しむことのできる地域スポーツクラブの育成」が47.5%で最多。

以下、「体育・文化施設を今まで以上に利用しやすくするような開館・閉館時間や休館日などの設定」、「ながさきホールネットワークを中心とした、演劇・音楽公演などの各地での開催」、「地域の伝統文化、芸能などの保存・継承」、「歴史的文化遺産などを学ぶ拠点づくり」、「国体など全国レベルでの競技力の向上」の順。

国際交流の推進について（問 17）

問 17 あなたは、国際交流の推進について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



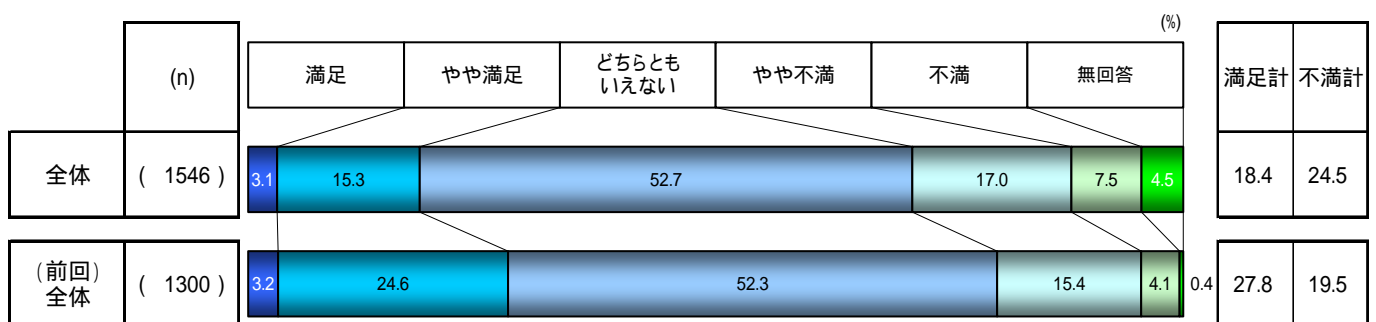
「中学や高校での外国語教育の充実」が 51.2%で最多。

これに「被爆県としての国際貢献、平和貢献」が 41.5%で続き、以下、「NGO など民間が取り組む国際協力活動への支援」、「中国や韓国などアジア諸国との交流」、「留学生の積極的な受け入れと生活支援」の順。「オランダなど欧米諸国との交流」が 10.5%で最少。

県の政策への全体的な満足度について（問 18）

問 18 県の施策を全体的にみて、どの程度満足していますか？

（1つ 印をおつけください。）



「前回」は、平成 12 年度の調査結果

「満足」と「やや満足」の計が 18.4%、「不満」と「やや不満」の計が 24.5%で、不満度が満足度を 6.1 ポイント上回る。